

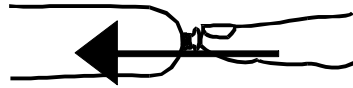
## ペンシルバルーン の作り方 (入門編) 2/2

### チューリップ型

チューリップの花びらの部分やブタの鼻などに使う、ちょっと変わった形です。コツは、結び目の部分を大きくしておく(2、3回結ぶ)ことと、指に粉などを付けておいて滑りを良くして指を抜きやすくしておくことです。

初心者の方には少し難しいかもしれませんが、ぜひ挑戦してみてください。

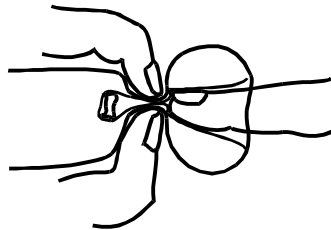
結び目に指を押し当てる。



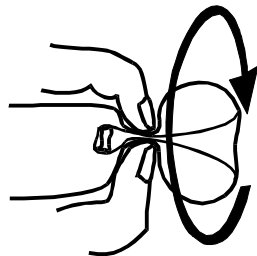
結び目を中に押し込む。



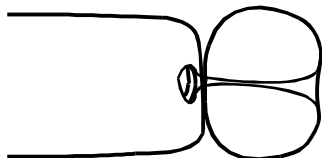
風船の外側から結び目をつまんで指をぬく。



先端の玉を4、5回ひねる。



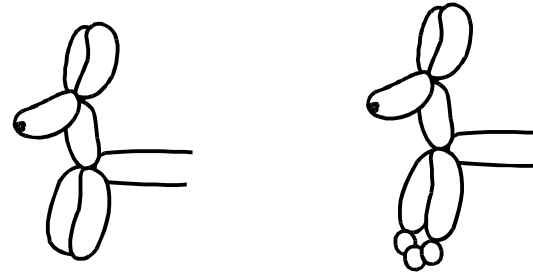
出来上がり



### 足(手)を切り離す方法

普通にたらこ型などで手や足を作ってしまうと、どうしても手や足の先でつながったままになってしまいます。ここではつながっている部分を上手に切り離す方法を紹介합니다。

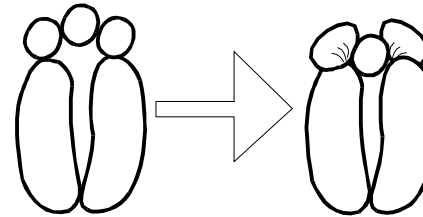
たらこ型で足(今回はとりあえず足ということにします。もちろん手でもやり方は一緒です。)を作る時に、足の間に小さな玉を三つ入れます。



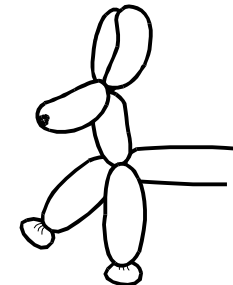
普通のたらこ型の足

足を分けたとき

左右の玉をしぼり型でねじります。真ん中はねじりません。しぼり方が甘いとき後で空気が抜けてしまうので気を付けてください。



残った真ん中の玉を割るときれいに離れます。



ペンシルバルーンをご使用の際は、(株)鈴木ラテックスの製品をご利用ください。

Copyright(c)1996 SUZUKI LATEX